

地域みらい学科 福祉とソーシャルケアコース

科目/学期	1年前期	単位数	1年後期	単位数	2年前期	単位数	2年後期	単位数	卒業要件 単位数合計
基礎教育科目	アカデミック・スキルズ 旭の女性とみらい リベラルアーツⅠ ボランティア実践 キャリア入門	2 1 2 1 1	地域みらい学 データサイエンスの基礎 リベラルアーツⅡ キャリア入門	1 1 2					10以上
外国語科目	英語他	1	英語他	1					
保健体育科目	体育理論 体育実技	1 1	体育理論 体育実技						
小計		10		5					
専門教育科目 (学科共通)	人間の尊厳と自立 情報リテラシーⅠ	2 1	情報リテラシーⅡ 身体表現Ⅰ	1 2	卒業研究Ⅰ 身体表現Ⅱ カウンセリング論	1 2 2	卒業研究Ⅱ	2	6以上
専門科目	社会の理解Ⅰ 介護過程論 人間関係とコミュニケーションⅠ 生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 認知症の理解Ⅰ	2 2 2 2 2 2	生活支援技術Ⅲ 介護過程演習Ⅰ 人間関係とコミュニケーションⅠ 障害の理解Ⅰ 社会の理解Ⅱ 介護コミュニケーション技術Ⅱ 発達と老化の理解Ⅰ 介護の基本Ⅰ 介護の基本Ⅱ 介護総合演習Ⅰ こころとからだのしくみⅠ 介護実習Ⅰ(集中)	2 1 2 2 2 1 2 4 4 2 4 6	介護過程演習Ⅱ 認知症の理解Ⅱ 障害の理解Ⅱ 生活支援技術総論 人間関係とコミュニケーションⅡ 生活支援技術Ⅳ 生活支援技術総論 発達と老化の理解Ⅱ 福祉メイク(講義) 介護実習Ⅱ(集中) 国際福祉研究(集中)	1 2 2 4 2 2 4 2 2 4 1	医療的ケア(講義) 介護過程演習Ⅲ 医療的ケア(演習) 介護総合演習Ⅱ こころとからだのしくみⅡ 介護の基本Ⅲ 福祉メイク(実習)	4 2 1 2 4 4 1	46以上
小計		12		32		26		18	
合計		25		40		31		20	116

科目名	介護の基本Ⅰ	人間関係とコミュニケーション	介護の基本Ⅲ	介護過程演習Ⅲ	
特徴	介護に関する専門職としての基	人間関係の形成における自己覚知	介護における安全を確保するための	「介護実習Ⅱ」で関わった対象者に対して介護計画の立案 実施 評価等	

地域みらい学科 福祉とソーシャルケアコース

	目的	本を学ぶ。	等について学ぶ。	知識、技術等について学ぶ。	して介護計画の立案、実施、評価等を実施する。
		介護福祉士を取り巻く社会状況を理解し、その社会的役割を学ぶ。また他の職種との連携についても理解する。	対人関係とコミュニケーション、コミュニケーションを促す環境やその技法等について理解する。	自立支援の視点から介護実践が行える能力を養う。またリスクマネジメント等、安全に配慮した介護が実践できるようになる。	具体的な介護実践内容を計画することができる。またケアの方法や手順等には意味と理由があることを理解する。

(公表日:令和7年10月1日)

地域みらい学科 韓国語文化コース

科目／ 学年	1 年 次 前 期	単位	1 年 次 後 期	単位	2 年 次 前 期	単位	2 年 次 後 期	単位
基礎教育科目	旭の女性とみらい	→	旭の女性とみらい	1				
	キャリア入門	→	キャリア入門	1				
	アカデミックスキルズ	2						
			データサイエンスの基礎	1				
			地域みらい学	1				
	リベラルアーツⅠA	2	リベラルアーツⅡA	2				
	リベラルアーツⅠB	2	リベラルアーツⅡB	2				
	リベラルアーツⅠC	2	リベラルアーツⅡC	2				
			リベラルアーツⅡD	2				
	ボランティア実践	→	ボランティア実践	→	ボランティア実践	→	ボランティア実践	1
外国語	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1				
	韓国語Ⅰ	1	韓国語Ⅱ	1				
	中国語Ⅰ	1	中国語Ⅱ	1				
	日本語Ⅰ	1	日本語Ⅱ	1				
体育	体育実技	→	体育実技	1				
	体育理論	→	体育理論	1				
学科共通科目	情報リテラシーⅠ	1	情報リテラシーⅡ	1				
	人間の尊厳と自立	2			カウンセリング論	2		
			インターンシップ	2				
			海外研修	1～3				
			身体表現Ⅰ	2	身体表現Ⅱ	2		
					卒業研究Ⅰ	1	卒業研究Ⅱ	2
	多文化共生の理解	2	アカデミックスキルズ(応用)	2				
	すぐ使える英会話(基礎)	2	すぐ使える英会話(応用)	2	海外インターンシップ	2		
	日本の文化Ⅰ	2	日本の文化Ⅱ	2	日本の文学Ⅰ	2	日本の文学Ⅱ	2
	日本の歴史	2	日本文化演習(礼法・茶道)	1				
	韓国文化研究Ⅰ	2	韓国文化研究Ⅱ	2	英米文化	2	世界の神話	2
			地域職場研究Ⅰ	2	地域職場研究Ⅱ	2		
			業界研究	2				

各分野の科目		韓 国 語 (書 く) I	2	韓 国 語 (書 く) II	2	中 級 韓 国 語 I	2	中 級 韓 国 語 II	2
		韓 国 語 (読 む) I	2	韓 国 語 (読 む) II	2	ビ ジ ネ ス 韓 国 語 I	2	ビ ジ ネ ス 韓 国 語 II	2
		韓 国 語 (聞 く) I	2	韓 国 語 (聞 く) II	2				
		韓 国 語 (話 す) I	2	韓 国 語 (話 す) II	2				1
		韓国語コミュニケーション I	1	韓国語コミュニケーション II	1			韓 国 語 翻 訳 ・ 通 訳	1
		TOPIK I レベルアップ講座 I	1	TOPIK I レベルアップ講座 II	1				
		TOPIK II レベルアップ講座 I	1	TOPIK II レベルアップ講座 II	1				
		ハ ン グ ル 検 定 講 座				ハ ン グ ル 検 定 講 座	2	韓 国 語 翻 訳 ・ 通 訳	1
		韓 国 の 歴 史 と 社 会 I	2	韓 国 の 歴 史 と 社 会 II	2				
		韓流エンターテインメントの光と影	→	韓流エンターテインメントの光と影	2			長 期 イ ン タ ー ン シ ッ プ	3～5
主要科目	科目名	【多文化共生の理解】		【韓国語コミュニケーション I】		【中級韓国語 I】		【ビジネス韓国語 II】	
	特徴	多文化、すなわち「自身のもつ」文化とは違う「異文化」は、世界に多く存在する。異文化の存在を知り、様々な人が共生する社会の実現が多文化共生社会を考える。		外国語である韓国語でのプレゼンテーションをすることによって、狭い意味での言語的能力を広げ、コミュニケーションの場として機能させる。そして、社会の多様な知識や情報を収集、取捨選択、多角的に構成、提供、提示あるいは提案、説得、質疑応答、議論することによって「学習者自らの発言」が主になる、能動的かつアクティブラーニングの実践に繋げることを試みる。		初級段階で学習した内容を復習しつつ、中級レベルの新しい文法や表現にアクティブラーニングを取り入れた授業。話す・聞く・読む・書くの4技能を通してしっかり身につけて韓国語のコミュニケーション能力を高め、日常生活かつ専門的な話題にも不自由がないように取り込んでいく。		ビジネスレターの作成方法やIT機器の使い方、プレゼンテーション、会議、通訳・翻訳作業方法など、実用的なスキルとことばを学ぶ。日韓両国の企業文化やビジネスマナーについてもより理解を深める学習を行い、グローバルビジネスに関する幅広い教養とコミュニケーション力の向上を図る。	
	目的	多文化共生の基礎作りとして、「異文化」対応力を身に付け、自らの意見をもち、表現することができるようになることを目的とする。さらに、社会現象を多角的な視点をもって見ることを目指す。		簡単な表現を使い、自分の意思表現をする。相手の話を理解して自分の考えをアドバイスできること。問題点について論理的に話すスキルを身に着ける。		韓国語のコミュニケーション能力において正確さと流暢さを向上させること。さらに双方向の文化についてディスカッションし、自文化まで再認識する。		異文化理解と他者認識の方法論が活用する。ビジネスレターの作成、簡単なサービス・商品の紹介プレゼンテーションができるようになること。そして、基礎的なビジネス業務についての通訳ができるようになること。	

(公表日:令和7年10月1日)